

2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月30日

上場会社名 FDK株式会社
 コード番号 6955 URL <https://www.fdk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 2020年8月5日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 長野 良
 (氏名) 渡辺 伸之
 TEL 03-5715-7400

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	14,256	13.2	444		355		296	
2020年3月期第1四半期	16,430	6.0	209		298		1,194	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 403百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 1,688百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	8.60	
2020年3月期第1四半期	34.62	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	47,447	7,143	15.0
2020年3月期	47,685	6,739	14.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 7,138百万円 2020年3月期 6,734百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では未定です。詳細は添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	34,536,302 株	2020年3月期	34,536,302 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	28,572 株	2020年3月期	28,537 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	34,507,748 株	2020年3月期1Q	34,508,503 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴ない、国内においては緊急事態宣言、海外における都市封鎖などにより、サプライチェーンの混乱、消費などの経済活動が停滞いたしました。一方で医療関係や新たな生活様式での関連の需要も見込まれるなど、景気の先行き不透明感が一層増した状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは本年4月にスタートした中期事業計画「R1」に掲げた目標の達成に向けて、既存ビジネスの質を転換させる取り組みと並行し、SMD対応小型全固体電池の第3四半期連結会計期間での量産開始に向けて当社湖西工場（静岡県湖西市）において量産ラインの構築に着手いたしました。また、新型コロナウイルスの感染拡大でサプライチェーンも混乱する状況において、テレワーク・時差通勤などの感染拡大防止策を柔軟に実施しながら製品の製造、お客様への製品供給など事業の継続に努めました。

当期の経営成績につきましては、電池事業の売上高はリチウム電池の伸長や北米市販用途向けを中心としたアルカリ乾電池・ニッケル水素電池の売上増があったものの、新型コロナウイルスの影響で、工業用途向けニッケル水素電池と設備関連ビジネスが減少したことにより、事業全体として減収となりました。電子事業の売上高は前期に実施した一部事業の譲渡による売上減や各種モジュールなどが減少したことにより、事業全体として減収となりました。この結果、売上高は前年同期に比べ21億73百万円（13.2%）減の142億56百万円となりました。

損益面につきましては、電池事業はアルカリ乾電池とリチウム電池の売上増に加え、コストダウンや費用の削減に取り組んだことにより、増益となりました。電子事業は選択と集中による損益の改善と前期に実施した一部事業の譲渡に伴う固定費の減少により、第1四半期としては、7年ぶりに黒字化しました。また、前期に実施した転進支援制度や海外子会社の固定資産の減損処理により全社として固定費の削減効果も加わり、営業利益は4億44百万円（前年同期は2億9百万円の営業損失）、経常利益は3億55百万円（前年同期は2億98百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億96百万円（前年同期は11億94百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となり、いずれも第1四半期としては、5年ぶりの黒字決算となりました。

事業別の売上概況は以下のとおりです。

①電池事業

電池事業はアルカリ乾電池とリチウム電池が増加したものの、ニッケル水素電池と設備関連ビジネスが減少したことにより、前年同期を下回りました。

製品別につきましては、ニッケル水素電池は、北米での市販用途向けでのインターネット販売や医療機器のバックアップ用途向けが伸長したものの、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う店舗休業や工業用途向けでの受注延伸により、前年同期を下回りました。アルカリ乾電池は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う店舗休業の影響により国内で減少しましたが、北米での市販用途向けインターネット販売が伸長したことにより、前年同期を上回りました。リチウム電池は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う工場閉鎖の影響により海外のセキュリティ・スマートメータ用途向けが減少したものの、国内のセキュリティ・スマートメータ用途向けやテレワーク推奨に伴うパソコン用途向けなどが伸長したことにより、前年同期を上回りました。設備関連ビジネスは、医療機器組立設備が伸長しましたが、新型コロナウイルスの影響で、自動車用部品組立設備受注が減少したことにより、前年同期を下回りました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ8億10百万円減少の104億32百万円となりました。

②電子事業

電子事業は前期に実施した一部事業の譲渡による売上減に加え、各種モジュールなどが減少したことにより、前年同期を下回りました。

製品別につきましては、各種モジュールは、テレワーク推奨に伴うパソコン用途向けや新型コロナウイルスの感染拡大に伴う医療機器用途向けで伸長したものの、産業機器・車載・自転車用途向けなどが減少したことにより、前年同期を下回りました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ13億63百万円減少の38億24百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度に比べ2億38百万円(△0.5%)減の474億47百万円となりました。流動資産は前連結会計年度に比べ2億56百万円(△0.8%)減の330億69百万円、固定資産は前連結会計年度に比べ18百万円(0.1%)増の143億78百万円となりました。流動資産減少の主な要因は、商品及び製品が5億58百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が6億65百万円、現金及び預金が2億66百万円それぞれ減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間の負債合計は、前連結会計年度に比べ6億42百万円(△1.6%)減の403億4百万円となりました。流動負債は前連結会計年度に比べ4億96百万円(△1.4%)減の355億98百万円、固定負債は前連結会計年度に比べ1億45百万円(△3.0%)減の47億5百万円となりました。流動負債減少の主な要因は、未払法人税等が97百万円、未払金が74百万円、リース債務が43百万円それぞれ減少したことによるものです。固定負債減少の主な要因は、退職給付に係る負債が1億57百万円減少したことによるものです。

なお、有利子負債残高は、電池事業の需要増加に伴う先行生産によるたな卸資産の増加や第3四半期連結会計期間での量産開始に向けたSMD対応小型全固体電池への設備投資などにより、前連結会計年度に比べ2億58百万円増の194億41百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間の純資産合計は、前連結会計年度に比べ4億3百万円(6.0%)増の71億43百万円となりました。純資産増加の主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が2億96百万円、退職給付に係る調整累計額が81百万円それぞれ増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少や減価償却費の計上、税金等調整前四半期純利益の計上などによる現金及び現金同等物(以下「資金」という)の増加はありましたが、たな卸資産の増加や未払費用の減少などにより53百万円の資金減少(前第1四半期連結累計期間は4億99百万円の資金減少)となりました。

当第1四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより4億64百万円の資金減少(前第1四半期連結累計期間は4億74百万円の資金減少)となりました。

当第1四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加などにより2億60百万円の資金増加(前第1四半期連結累計期間は14億20百万円の資金増加)となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間末の資金残高は期首残高より2億66百万円減少し、87億96百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの感染拡大影響につきましては、店舗休業などによる市販用途向け電池の減少をインターネットでの販売がカバーしたことに加え、テレワーク推奨に伴うパソコン用途向け電池や各種モジュールなど新たな生活様式の関連需要が増加したことから、当第1四半期連結累計期間において業績への影響は限定的であります。しかしながら、第2四半期以降、欧州での市場の冷え込みに伴ない当期に増加を見込んでいた車載用途向けのニッケル水素電池、リチウム電池に加え、自転車用途向けの電子製品の受注動向やお客様における在庫調整の懸念があること。一方で医療関係や新たな生活様式での新たな関連需要など、現時点では未確定要素が多いことから、適正かつ合理的な業績予想の算出が困難な状況であるため、連結業績予想につきましては、前期決算短信発表時(2020年5月14日発表)と同様に「未定」とさせていただきます。

今後、事業活動への影響度合いの状況確認が進み、適正かつ合理的な算出が可能になりましたら、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,063	8,796
受取手形及び売掛金	15,347	14,682
商品及び製品	2,569	3,128
仕掛品	2,302	2,414
原材料及び貯蔵品	2,905	3,259
その他	1,163	817
貸倒引当金	△26	△30
流動資産合計	33,326	33,069
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,735	5,602
機械装置及び運搬具（純額）	4,135	4,030
工具、器具及び備品（純額）	697	701
土地	2,531	2,529
リース資産（純額）	203	183
建設仮勘定	91	184
有形固定資産合計	13,395	13,231
無形固定資産	466	461
投資その他の資産		
投資有価証券	165	213
長期貸付金	1	-
繰延税金資産	26	28
その他	305	442
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	498	684
固定資産合計	14,359	14,378
資産合計	47,685	47,447

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,044	9,043
電子記録債務	3,561	3,584
短期借入金	18,800	19,130
リース債務	184	140
未払金	1,479	1,404
未払法人税等	292	194
その他	2,733	2,100
流動負債合計	36,095	35,598
固定負債		
リース債務	198	170
繰延税金負債	197	187
退職給付に係る負債	3,884	3,726
長期未払金	187	187
その他	384	433
固定負債合計	4,850	4,705
負債合計	40,946	40,304
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,709	31,709
資本剰余金	26,376	26,376
利益剰余金	△48,176	△47,879
自己株式	△48	△48
株主資本合計	9,860	10,157
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	37
為替換算調整勘定	△110	△117
退職給付に係る調整累計額	△3,021	△2,939
その他の包括利益累計額合計	△3,126	△3,019
非支配株主持分	5	5
純資産合計	6,739	7,143
負債純資産合計	47,685	47,447

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	16,430	14,256
売上原価	13,881	11,529
売上総利益	2,548	2,726
販売費及び一般管理費	2,758	2,282
営業利益又は営業損失(△)	△209	444
営業外収益		
受取利息	8	17
受取配当金	11	1
補助金収入	-	18
固定資産売却益	0	0
受取賃貸料	3	5
その他	16	9
営業外収益合計	39	52
営業外費用		
支払利息	33	33
為替差損	30	86
持分法による投資損失	15	-
固定資産除却損	37	3
その他	9	16
営業外費用合計	127	141
経常利益又は経常損失(△)	△298	355
特別損失		
事業譲渡損失引当金繰入額	745	-
減損損失	57	-
特別損失合計	802	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,100	355
法人税、住民税及び事業税	77	88
法人税等調整額	16	△29
法人税等合計	94	58
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,194	296
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,194	296

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,194	296
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	32
為替換算調整勘定	△458	△7
退職給付に係る調整額	101	81
持分法適用会社に対する持分相当額	△132	-
その他の包括利益合計	△493	106
四半期包括利益	△1,688	403
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,688	403
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,100	355
減価償却費	531	493
減損損失	57	-
事業譲渡損失引当金の増減額(△は減少)	745	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△130	△157
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	3
受取利息及び受取配当金	△19	△18
支払利息	33	33
為替差損益(△は益)	0	0
持分法による投資損益(△は益)	15	-
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
固定資産除却損	37	3
補助金収入	-	△18
売上債権の増減額(△は増加)	△22	662
たな卸資産の増減額(△は増加)	303	△1,019
仕入債務の増減額(△は減少)	△948	20
未払費用の増減額(△は減少)	△445	△486
その他	524	186
小計	△420	58
利息及び配当金の受取額	19	18
補助金の受取額	-	18
利息の支払額	△30	△37
法人税等の支払額	△68	△110
営業活動によるキャッシュ・フロー	△499	△53
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△475	△454
有形固定資産の売却による収入	5	1
無形固定資産の取得による支出	△1	△10
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
その他	△1	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△474	△464
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,510	330
自己株式の取得による支出	△0	△0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△89	△69
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,420	260
現金及び現金同等物に係る換算差額	△151	△9
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	294	△266
現金及び現金同等物の期首残高	8,734	9,063
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,029	8,796

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	電池事業	電子事業			
売上高					
外部顧客への売上高	11,242	5,187	16,430	—	16,430
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,242	5,187	16,430	—	16,430
セグメント利益又は損失(△)	25	△235	△209	—	△209

(注) セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	電池事業	電子事業			
減損損失	—	57	57	—	57

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	電池事業	電子事業			
売上高					
外部顧客への売上高	10,432	3,824	14,256	—	14,256
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,432	3,824	14,256	—	14,256
セグメント利益	387	56	444	—	444

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。